

CONTENTS

P.8～

CHAPTER 1 必修問題

正文 No.

健康の定義	1
総人口	2
年齢別人口	3
将来推計人口	4
世帯構造	5～8
婚姻、家族形態	9
出生と死亡	10～16
平均余命、平均寿命、健康寿命	17
受療状況	18～21
生活行動・習慣	22～32
生活環境	33～36
社会環境	37～46
医療保険制度の基本	47～54
介護保険制度の基本	55～59
基本的人権の擁護	60～65
倫理原則	66
保健師助産師看護師法	67～72
看護師等の人材確保の促進に関する法律	73～74
人間と欲求	75～78
対象の特性	79～81
新生児期・乳児期	82～85
幼児期	86～96
幼児期・学童期	97
思春期	98～102
成人期	103～104
老年期	105～110
看護活動の場と機能・役割	111～124
人体の基本的な構造と正常な機能	125～161
人間の死	162～163
主要な症状と徴候	164～187
主要な疾患による健康障害	188～209
基本的な臨床検査値の評価	210～212
主な薬物の効果と副作用 (有害事象)	213～230
薬物の管理	231～235
コミュニケーション	236～239
看護過程	240～244
フィジカルアセスメント	245～248
食事	249～257
活動と休息	258～262
清潔	263～267
療養環境	268～269
医療安全対策	270～272
感染防止対策	273～277
栄養法	278～279
薬物療法	280～282

P.68～

CHAPTER 2 人体の構造と機能

輸液・輸血管理	283
採血	284～285
呼吸管理	286～288
救命救急処置	289～294
皮膚・創傷の管理	295～300
細胞の構造	301
遺伝子と遺伝情報	302～303
組織	304～306
生体リズム	307～308
内部環境の恒常性維持機構	309～311
神経細胞と神経組織	312
中枢神経系の構造と機能	313～316
末梢神経系の構造と機能	317～322
骨と骨格	323～324
骨格筋の構造と機能	325～329
視覚	330～331
聴覚	332
心臓の構造と機能	333～334
血管系の構造と機能	335～339
リンパ系の構造と機能	340
血液の成分と機能	341
骨髄と造血	342
止血機構	343～345
血液型	346～347
体液の調節	348～349
非特異的生体防御機構	350～353
特異的生体防御反応(免疫系)	354～357
気道の構造と機能	358～359
縦隔	360
呼吸	361～365
咀嚼・嚥下	366
消化と吸収	367～371
物質代謝	372～376
尿の生成	377～379
体液量の調節	380
排尿	381～382
体温の調節	383～386
内分泌器官の構造とホルモンの 機能	387～397
女性の生殖器系の構造と機能	398
男性の生殖器系の構造と機能	399～400

P.88 ~

CHAPTER 3 疾病の成り立ちと 回復の促進

疾病の要因	401~402
細胞の障害	403
生体の障害	404~421
診断の基本と方法	422~426
薬物の特性	427~459
治療方法	460
医療による健康被害	461
呼吸器系の疾患の病態と診断・治療	462~472
心臓の疾患の病態と診断・治療	473~478
血管系の疾患の病態と診断・治療	479~483
血圧異常の病態と診断・治療	484
ショックの病態と診断・治療	485~489
上部消化管の疾患の病態と診断・治療	490
下部消化管の疾患の病態と診断・治療	491~497
肝臓・胆・膵臓の疾患の病態と診断・治療	498~502
内分泌系の疾患の病態と診断・治療	503~507
代謝異常の疾患の病態と診断・治療	508~518
体液調節の疾患の病態と診断・治療	519~520
血液・造血器の疾患の病態と診断・治療	521~527
感染性疾患の病態と診断・治療	528~541
自己免疫疾患の病態と診断・治療	542~553
アレルギー性疾患の病態と診断・治療	554~556
中枢神経系の疾患の病態と診断・治療	557~572
末梢神経系の病態と診断・治療	573~574
感覚器系の疾患の病態と診断・治療	575~580
運動器系の疾患の病態と診断・治療	581~584
泌尿器系の疾患の病態と診断・治療	585~591
生殖器系の疾患の病態と診断・治療	592~597
精神・心身の疾患の病態と診断・治療	598~600

P.128 ~

CHAPTER 4 健康支援と 社会保障制度

生活単位の変化：人口構造	601
--------------	-----

家族機能の変化	602~603
ライフスタイルの変化	604
地域や職場における機能	605~607
労働と健康	608~611
社会保障の理念	612
社会保障制度	613~615
医療保険制度	616
介護保険制度	617~620
社会福祉制度	621
生活保護に関する制度	622~625
障害者(児)に関する法と施策	626~632
児童に関する制度	633~640
高齢者に関する制度	641~642
その他の制度	643~646
公衆衛生の理念	647
疫学的方法に基づく公衆衛生	648~654
感染症の基本	655~658
主要な感染症と動向：人獣共通感染症	659
地球環境	660~666
ごみ・廃棄物	667
精神保健	668~669
その他の保健活動の基盤となる法や制度	670
生活習慣病の予防	671~676
職場の健康管理	677
看護職に関する法	678~679
サービスの提供体制	680

P.144 ~

CHAPTER 5 基礎看護学

看護の本質	681
看護の対象	682~683
健康と生活	684
看護における倫理	685
対象との関係の形成	686
看護における連携と協働	687
コミュニケーション	688
学習支援	689~692
看護過程	693~694
フィジカルアセスメント	695~698
感染防止対策	699~702
安全管理(セーフティマネジメント)	703~704
安楽の確保	705~708
終末期のケア	709~710
環境	711
食事と栄養	712~713
排泄	714~717
活動	718

清潔・衣生活	719~720
呼吸、循環、体温調整	721~731
皮膚・創傷管理	732~734
与薬	735~738
輸液・輸血管理	739~740
救命救急処置	741~744
生体機能のモニタリング	745~750

CHAPTER 6

P.158~

成人看護学

成人期の特徴と生活	751
生活習慣病に関連する健康課題	752
職業に関連する健康課題	753
救急看護・クリティカルケアの基本	754~758
術前の看護	759~760
術中の看護	761~764
術後の看護	765~769
術後合併症と予防	770~775
がん患者の集学的治療と看護	776~777
緩和ケアを必要とする患者と家族への看護	778~781
エンド・オブ・ライフ・ケア (end-of-life care)	782
臨死期の看護	783
呼吸機能障害のある患者の看護	784~790
循環機能障害のある患者の看護	791~793
消化・吸収機能障害のある患者への看護	794~798
栄養代謝機能障害のある患者の看護	799~800
内分泌機能障害のある患者の看護	801
身体防御機能の障害のある患者の看護	802~803
脳・神経機能障害のある患者の看護	804~806
感覚機能障害のある患者の看護	807
運動機能障害のある患者の看護	808~809
乳腺機能障害のある患者の看護	810

CHAPTER 7

P.170~

老年看護学

老年期の発達と変化	811
高齢者のいる家族の理解	812~814
その人らしい生活の継続	815~816
高齢者の健康と疾病	817~819
老年期における身体機能の変化	820~825
老年期における心理・社会的変化と健康への影響	826~828

老年看護に用いられる概念・モデル・理論	829
老年看護の倫理	830~832
高齢者の生活を支える制度と施策	833~840
高齢者の食事・食生活の特徴と援助	841~843
高齢者の排泄の特徴と援助	844~846
高齢者の清潔と衣生活の特徴と援助	847
高齢者の活動と休息のバランスの特徴と援助	848
高齢者における性 (セクシュアリティ)	849
終末期にある高齢者と家族への看護	850
高齢者に特有な疾患・障害の病態と要因	851~852
高齢者に特有な疾患・障害の治療	853~854
高齢者に特有な疾患・障害の予防と看護	855~859
認知機能が低下した高齢者の看護	860

CHAPTER 8

P.180~

小児看護学

小児医療・小児看護の変遷と課題	861~862
子どもの成長・発達原則と影響因子	863~865
子どもの成長・発達のアセスメント	866~868
小児期における成長・発達の特徴	869~874
栄養と食生活	875~879
事故防止と安全教育	880~881
感染と予防	882~883
思春期の成長・発達	884
病気に対する子供の理解と説明	885
プレパレーション	886
痛みを表現している子どもと家族への看護	887
活動制限が必要な子どもと家族への看護	888~889
感染対策上隔離が必要な子どもと家族への看護	890
小児特有の診療 (検査、処置) に伴う技術と看護	891
虐待を受けている子どもと家族への看護	892
急性症状のある子どもと家族への看護	893~894
救命救急処置が必要な子どもと家族への看護	895~896
先天性疾患や慢性的な経過をとる疾患をもつ子どもと家族への看護	897~906
心身障害のある子どもと家族への看護	907~908

医療的ケアを必要として退院する子どもと家族への看護 909～910

P.190～

CHAPTER 9 母性看護学

妊娠期からの切れ目ない支援に関する法や施策：母子保健法 911

働く妊産婦への支援に関する法律や施策育児・介護休業法、労働基準法 912～913

女性の健康支援に関する法や施策：母体保護法 914

リプロダクティブ・ヘルスに関する概念：性(セクシュアリティ)、ジェンダー 915

思春期・成熟期女性の健康維持への看護：第二次性徴、性周期(初経、月経) 916～918

思春期・成熟期女性の健康課題：月経異常、月経随伴症状、性感染症(STI)、不妊症 919～922

更年期・老年期女性の健康課題と看護 923～924

正常な妊娠経過と妊娠期の異常 925～940

妊婦の健康生活とアセスメント 941～942

妊婦と家族への看護 943～948

正常な分娩の経過と分娩期の異常 949～958

分娩期の健康問題に対する看護 959～960

正常な産褥の経過と産褥期の異常 961～963

産褥と家族への看護 964～968

産褥期の健康問題に対する看護 969～970

早期新生児の生理的变化と異常 971

早期新生児期のアセスメント 972～975

早期新生児とその家族への看護 976～977

早期新生児の健康問題に対する看護 978～980

P.204～

CHAPTER 10 精神看護学

精神の健康の概念 981～983

心の機能と発達：転移感情 984

精神の健康に関する普及啓発 985

災害時の精神保健：災害時の精神保健医療活動 986

症状性を含む器質性精神障害 987

精神作用物質使用による精神・行動の障害 988～991

統合失調症、統合失調症性障害および妄想性障害：統合失調症 992～1001

気分(感情)障害 1002～1008

神経症性障害、ストレス関連障害、身体表現性障害 1009～1011

生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群 1012

援助関係の構築 1013

脳の仕組みと精神機能：神経伝達物質と精神機能・薬理作用 1014

心理・社会的療法 1015～1019

社会復帰・社会参加への支援：ICF 1020～1022

社会資源の活用とケアマネジメント 1023

精神保健医療福祉の変遷と看護 1024

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(精神保健福祉法)の運用 1025～1029

コンサルテーションと連携：リエゾン精神看護 1030

P.214～

CHAPTER 11 在宅看護論/ 地域・在宅看護論

在宅看護の特徴と健康課題 1031

在宅療養者の自立支援 1032

地域・在宅看護の目的と特徴 1033～1040

在宅療養者の日常生活における安全管理 1041～1044

災害による暮らしへの影響 1045

訪問看護制度の理解 1046～1052

地域・在宅看護におけるサービステキの理解 1053～1058

病期に応じた在宅療養者への看護 1059～1061

主な疾患に応じた在宅看護 1062～1063

在宅療養者の排泄を支えるケア 1064～1068

在宅療養生活を支える看護 1069～1070

主な治療法に応じた在宅看護 1071～1077

在宅療養者の食事・栄養を支えるケア 1078

地域包括ケアシステムにおける看護職の役割：訪問看護の役割 1079～1080

P.224～

CHAPTER 12 看護の統合と実践

看護におけるマネジメントの目的と方法 1081～1082

医療・看護における質保証と評価、改善の仕組み 1083～1084

看護業務に関する情報に係る技術と取扱い 1085～1087

医療安全を維持する仕組みと対策 1088～1092

災害時の医療を支える仕組み 1093～1096

災害各期の特徴と看護 1097

グローバル化に伴う世界の健康目標と課題 1098～1099

グローバルな社会における看護 1100

[別冊] 穴埋めドリル ※取りはずせませ